

タイトル 高等研 茶会

掲載日 2009年6月7日(日)

掲載紙誌名 京都新聞

掲載面 地域：山城 24面

**庭園眺めもてなし体験**  
高等研 市民ら「茶会」楽しむ



開放的な庭園内にある茶室「雅松庵」で茶会を楽しむ参加者たち（木津川市木津川台・国際高等研究所）

関西学研都市の国際高等研究所（木津川市木津川台）の茶室「雅松庵」で6日、茶会や、茶の作法体験を楽しむ催しが行われ、事前に申し込んだ市民ら約300人が参加した。裏千家寄贈の雅松庵や、高等研について、本物に触れて理解を深めてもらう狙いで毎年開いており、10回目。

茶席は、裏千家の本間宗寿・正教授が主催し、樂茶碗をはじめ道具や作法について、わかりやすく説明した。参加者らは菓子と茶をじっくりと味わい、開放的な庭園の眺めや、あるがままを表す「雲悠々水潺潺」と書かれた掛け軸を見ながら、ほっと落ち着いた表情を浮かべていた。また、高等研の館内では、簡易な立礼の茶席や、初心者が茶のたて方を学ぶ体験コーナーも設けられた。

3年前から参加しているという精華町光台の主婦（74）は「このような研究所に入り、本物の器と道具で、心からのおもてなしを体験できるのはありがたいこと」と話していた。（石崎立矢）